

P=ポイント

国 内		県 内	
1日	6月日銀短観、全産業の業況判断指数改善 日銀が発表した6月の全国企業短期経済観測調査(短観)では、全産業の最近の業況判断指数(DI)は前回調査(2021年3月)比5P上昇のマイナス3と改善。先行きについては2P低下のマイナス5。	1日	県内路線価、29年連続下落 熊本国税局発表の2021年1月1日時点の県内路線価では、標準宅地の平均変動率は前年比0.6%減と29年連続の下落。県内路線価最高値は宮崎市橘通西3丁目「橘通り」で1㎡23万円。
1日	2021年都道府県庁所在都市最高路線価22カ所で下落 国税庁は2021年1月1日時点の路線価を発表。都道府県庁所在都市の最高路線価では47カ所のうち22カ所で前年変動率が下落。下落幅最大は奈良市のマイナス12.5%。	1日	青島海水浴場、「青島ビーチパーク」営業開始 宮崎市の青島海水浴場で、今年も「青島ビーチパーク」が営業を開始。2015年以降毎年4月下旬から9月下旬まで営業しているが、新型コロナウイルスの影響で昨年同様7月のスタート。
5日	日銀7月地域経済報告、景気判断2地域で引き上げ 日銀は7月の地域経済報告を発表。各地域の景気の総括判断は、多くの地域で「基調としては持ち直している」または「持ち直しつつある」とし、前回調査(4月)比改善と判断したのは北陸と近畿の2地域。	3日	国文祭・芸文祭みやざき2020が開幕 第35回国民文化祭と第20回全国障害者芸術・文化祭が開幕。新型コロナウイルスの影響で当初予定から1年延期されたの実施。10月17日まで全26市町村で136のプログラムが実施される。
6日	5月家計調査、消費支出前年同月比11.6%増 5月の家計調査では、消費支出(2人以上の世帯)は1世帯当たり28万1,063円と物価変動の影響を除いた実質で前年同月比11.6%増。自動車購入などの増加が寄与した。	13日	ソラシドエア、「空陸一貫 高速小口貨物輸送事業」開始を発表 ソラシドエアは2021年9月上旬を目途に地元と首都圏のお客様をつなぐ新規事業「空陸一貫 高速小口貨物輸送事業」を開始すると発表。貨物の引き取り、航空輸送、納品を自社で一貫して行い、原則当日中に届けるサービス。
7日	5月景気動向一致指数、前月比2.6P低下 5月の景気動向一致指数(速報値、2015年=100)は、半導体不足による自動車の減産などの影響で、前月比2.6P低下の92.7と3カ月ぶりの低下。景気動向一致指数の基調判断は「改善を示している」。	19日	県内「感染拡大防止強化月間」開始 県は新型コロナウイルス対策として、人流増加が予想される夏休み期間(7月19日から8月31日)を「感染拡大防止強化月間」とした。全都道府県を対象に不要不急の往来自粛を要請。
8日	5月国際収支状況、貿易収支黒字に転化 5月の国際収支状況(速報)では、輸出が前年同月比46.5%増の6兆1,832億円。輸入が同30.6%増の6兆1,812億円となり、貿易収支は同5,145億円増の20億円と黒字に転化。	19日	高千穂町、独自の町内宿泊事業者支援事業開始 高千穂町は新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けている町内宿泊事業者の支援として、県内在住者を対象に宿泊割引事業を開始。割引額は宿泊料金によって異なる。
8日	6月景気ウォッチャー調査、景気の現状判断指数改善 6月の景気ウォッチャー調査では、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は前月比9.5P上昇の47.6と3カ月ぶりに改善。家計動向関連、企業動向関連、雇用関連すべての判断指数が改善。	26日	高千穂グルメスタンプラリー開始 高千穂町商工会は、新型コロナウイルスで大きな影響を受けている町内飲食店を支援する「高千穂グルメスタンプラリー」を開始。参加店で500円以上飲食し、5店舗のスタンプを集めると抽選で60人に商品券が当たる。
12日	政府、東京都に4度目の緊急事態宣言を発令 政府は東京都に対し4度目となる緊急事態宣言を発令。期間は7月12日から8月22日まで。東京五輪やお盆休み期間の人流抑制で感染拡大防止を図る。	27日	川南町商工会、町内飲食店支援事業開始 川南町商工会は町内飲食店を支援するため、町内飲食店などで使用できる40%のプレミアム付き食事券800セットを販売開始。利用期限は7月27日から2022年1月26日まで。
19日	7月月例経済報告、景気判断3カ月連続据え置き 7月の月例経済報告では、景気の基調判断を「持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している」と3カ月連続据え置き。個人消費のサービス支出を中心に弱い動きとなっている。	28日	えびの市、太陽光発電事業者と事業協定締結 えびの市はいちごECOエナジー(株)(東京都)と太陽光発電事業で事業協定を締結。賃貸契約済みの市有地に約3万6千枚の太陽光パネルを設置。総事業費は約50億円。
21日	2021年上半期貿易統計、2期連続黒字 2021年上半期(1~6月)の貿易統計では、輸出が前年同月比23.2%増の39兆8,573億円。輸入が同12.2%増の38兆8,723億円。輸出から輸入を差し引いた貿易収支は9,850億円と2期連続の黒字。	30日	都城市、2020年度ふるさと納税受入額日本一 都城市は2020年度ふるさと納税受入額が135億2,500万円と全国1位。他にも都農町が受入額82億6,800万円で同5位となり、都道府県別では本県は365億4,400万円で全国3位。